

KAORI OF VIOLIN RECITAL KAZUNE SHIMIZU Piano

ヴァイオリン・リサイタル

大江 馨



ピアノ：清水 和音

ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ第8番
J.S.バッハ：無伴奏パルティータ第2番
フランク：ヴァイオリン・ソナタ

2017.12.9 [土] 14:00開演 (13:30開場) 紀尾井ホール

全席指定 (税込)：S¥4,000 A¥3,000 *未就学児童の入場不可。*都合により、曲目・曲順が変更となる場合がございます。予めご了承ください。

プレイガイド
紀尾井ホール・チケットセンター 03-3237-0061 (日・祝除く/10:00~18:00) <http://www.kioi-hall.or.jp/tickets>
チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード:340-064) <http://pia.jp/>
ローソンチケット 0570-000-407 (オペレーター/10:00~20:00) 0570-084-003 (Lコード:35071) <http://l-tike.com/>
イープラス <http://eplus.jp/>

お問合せ：サンライズプロモーション東京 0570-00-3337 (全日10:00~18:00) 主催：MIYAZAWA & Co. © Shigeto Imura

KAORU OE VIOLIN RECITAL

KAZUNE SHIMIZU Piano

リサイタルに寄せて

今回紀尾井ホールで、私の尊敬するピアニストである清水和音さんと共演できるのはこの上ない喜びです。

前半はベートーヴェンとバッハという

ドイツの最も偉大な作曲家達の作品に取り組みます。

どちらの作曲家も、一生をかけて向き合っていきたいと思う、

私にとって特別な存在。

ドイツで研鑽を積む23才の今、

私の感じるありのままを皆様にお伝えできたらと願っています。

後半はフランス系ヴァイオリン・ソナタの最高傑作とも言われる

フランクのヴァイオリン・ソナタ。

絵画的で、人生の物語を表現したようなこの作品の情景を

お楽しみ頂けたら幸いです。

大江 馨



©Shigeto Imura

大江 馨(ヴァイオリン) Kaoru Oe, Violin

1994年生まれ仙台市出身。5歳よりヴァイオリンをはじめ、桐朋学園大学ソリストディプロマコースに特待生として入学。同時に慶應義塾大学法学部で学び、卒業。現在ドイツのクロンベルクアカデミーにてクリスチャン・テツラフ氏に師事し研鑽を積む。その傍ら日本およびヨーロッパにおいてソロや室内楽の演奏活動を精力的に展開している。これまでに渋谷由美子、堀正文、漆原啓子、堀米ゆずりの各氏に師事。室内楽を山崎伸子氏、磯村和英氏に師事。2013年第82回日本音楽コンクール第1位、岩谷賞(聴衆賞)、黒柳賞、レウカディア賞、鷺見賞、全部門を通じて最も印象的な演奏に対し贈られる増沢賞を受賞。他、第63回全日本学生音楽コンクール全国大会第1位、第6回横浜国際音楽コンクール第1位、第14回日本演奏家コンクール第1位併せて文部科学大臣賞。ザルツブルク=モーツァルト国際室内楽コンクール2013第1位。平成26年度横浜文化賞芸術・文化奨励賞を受賞。2010年度ヤマハ財団音楽支援奨学生。2013年度宗次エンジェル基金/日本演奏連盟奨学生。2014、2015年度公益財団法人ロームミュージックファンデーション奨学生。これまでに山下一史、円光寺雅彦、尾高忠明、山田和樹、川瀬賢太郎、鈴木織衛各氏等の指揮でNHK交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、東京シティーフィルハーモニック管弦楽団、セントラル愛知交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、横浜シンフォニエッタ、仙台フィルハーモニー管弦楽団、群馬交響楽団等と共演。

清水 和音(ピアノ) Kazune Shimizu, piano

完璧なまでの高い技巧と美しい弱音、豊かな音楽性を兼ね備えた日本を代表するピアニスト。

ジュネーブ音楽院にて、ルイ・ヒルトブラン氏に師事。1981年、弱冠20歳で、パリのロン＝ティボー国際コンクール・ピアノ部門優勝、あわせてリサイタル賞を受賞した。1982年、デビュー・リサイタルを開く。これまでに、ロジェストヴェンスキーならびにティルソン・トーマス指揮ロンドン交響楽団、ノセダ指揮キーロフ歌劇場管弦楽団、ゲルギエフ指揮マリンスキー歌劇場管弦楽団、アシュケナージ指揮シドニー交響楽団、国内ではNHK交響楽団ほか日本全国のオーケストラと共演を重ね、指揮者・オーケストラからは絶大な信頼を得ている。また、室内楽の分野でも活躍。共演者からの信頼も厚い。

1995年秋から2年にわたって行われた、ベートーヴェンのピアノ・ソナタ全32曲演奏会は、その完成度を新聞紙上で高く評価され、ライブ録音がリリースされている。

これまでにソニーミュージックやオクタヴィア・レコードなどに多数の録音を残し、各誌で絶賛されている。

2011年には、デビュー30周年を記念して、ラフマニノフのピアノ協奏曲第1番～第4番とパガニーニの主題による狂詩曲の全5曲を一度に演奏するという快挙を成し遂げた。デビュー35周年を迎えた2016年5月には、ブラームスのピアノ協奏曲第1番及び第2番を熱演。同年4月からは、2ヶ月毎・年6回の室内楽シリーズ「芸劇ランチ・コンサート」を開始するなど精力的な活動を続けている。2018年までの5年間・年2回のリサイタル・シリーズ「ピアノ主義」では幅広いレパートリーで聴衆を魅了している。



©Mana Miki